

## 稲取水産祭・伊豆漁協水産まつりが開催される

平成29年5月3日に伊豆漁協稲取支所で「第37回水産祭売り出し」が開催されました。これは、キンメダイをはじめ定置網で獲れたワラサやサバなど地元水産物をお祭り価格で販売するゴールデンウィーク恒例のイベントです。開場時刻は午前8時30分でしたが、午前7時前から長蛇の列ができていました。特に朝獲れの稲取キンメは大人気で開場直後に売り切れてしまいました。漁協婦人部による数量限定の地元名産げんなり寿司や、伊豆漁協の販売する干物やサザエも好評でした。また、清水漁協用宗支所から釜揚げしらすの販売がありました。

水産物を購入した方を対象に抽選会が行われ、東伊豆町観光関係者や伊豆漁協等が用意した宿泊券や地元特産品などの景品を狙って大賑わいでした。最後は恒例の餅まきを行い、大盛況のうちに祭りは締めくくられました。

会場では活きたキンメダイの水槽展示も行われました。昨年は海上の風が強くキンメダイを獲りに行けなかったため展示は行えませんでしたので2年振りの展示となりました。泳いでいる姿が見ることが出来る機会はなかなか無いので、来場者は興味深く観察していました。

6月17日に伊豆漁協水産まつりが下田市魚市場で開催されました。当日は下田市内をはじめ県内外から多くの来場者が訪れ賑わいをみせました。

須崎日戻りキンメダイの即売会をはじめ、定置網の鮮魚やサザエ販売、ところてんの試食・販売、稲取のげんなり寿司、伊豆さざえチャウダーなど、伊豆漁協の各支所からの特産品や名産品がはどれも盛況で、地元ならではの逸品を多くの方が味わっていました。特に、キンメ汁の無料サービスが好評で始まりとともに長い列ができていました。漁協青壮年部連合会の「疑似釣ゲーム」のコーナーでは、多くの子供達が集まり会場を沸かせていました。最後は恒例の餅まきを行い、大盛況のうちに祭りは締めくくられました。



写真 稲取水産祭 キンメダイ水槽展示

(吉川康夫)